

果樹情報 第3号 (R7. 4. 9～R7. 4. 22)

県中農林事務所須賀川農業普及所・JA 夢みなみ(すかがわ岩瀬地区、あぶくま石川地区)

1 生育状況(須賀川管内、4月4日現在)

本年の発芽状況については、ももは平年より1日遅く、なしは平年より5～7日早く、りんごは3～5日早い状況となっています。また、展葉状況については、なし「豊水」は平年より4日早く、りんごは1～3日早い状況となっています(表1)。

表1 管内の発芽・展葉状況(令和7年4月7日時点)

	発芽観測日			展葉観測日		
	本年	平年	昨年	本年	平年	昨年
あかつき(須賀川)	3月25日	3月24日	3月27日	—	—	—
幸 水(須賀川)	3月25日	4月1日	3月31日	未	4月14日	4月12日
豊 水(須賀川)	3月25日	3月30日	3月28日	4月7日	4月11日	4月10日
つ が る(石川)	3月26日	3月30日	3月29日	未	4月11日	4月10日
ジョナゴールド(石川)	3月26日	3月29日	3月29日	4月7日	4月8日	4月8日
シナノスイート(石川)	3月25日	3月28日	3月29日	未	4月5日	4月8日
ふ じ(石川)	3月26日	3月31日	3月31日	4月7日	4月10日	4月8日
ふ じ(鏡石)	3月26日	3月30日	3月29日	未	4月9日	4月8日
ふ じ(須賀川)	3月26日	3月30日	3月29日	4月7日	4月9日	4月8日

発芽・展葉日の平年は1995～2024年の平均値

参考 管内における平年の開花日

	開花始め		開花盛り	
	平年	昨年	平年	昨年
あかつき(須賀川)	4月13日	4月7日	4月19日	4月14日
幸 水(須賀川)	4月21日	4月15日	4月26日	4月19日
豊 水(須賀川)	4月18日	4月13日	4月23日	4月16日
つ が る(石川)	4月27日	4月20日	5月1日	4月25日
ジョナゴールド(石川)	4月25日	4月19日	4月30日	4月24日
シナノスイート(石川)	4月22日	4月20日	4月27日	4月26日
ふ じ(石川)	4月27日	4月21日	5月1日	4月25日
ふ じ(鏡石)	4月26日	4月21日	4月30日	4月25日
ふ じ(須賀川)	4月26日	4月19日	4月30日	4月25日

発芽・展葉日の平年は1995～2024年の平均値

※東北地方1か月予報(仙台管区気象台 令和7年4月3日発表)によると、今後の平均気温は
1週目(4/5～4/11)、
2週目(4/12～4/18)ともに平年より高いと予想されています。

2 開花予測(福島県農業総合センター果樹研究所 令和7年4月1日現在)

今後の気温が平年より2℃高く経過した場合、なし「幸水」の開花は4月15日で平年より5日早く、りんご「ふじ」の開花は4月21日で平年より5日早いと予想されます(表2)。なお、この時期の生育は直前の気温の影響が大きいため、今後の気温の推移により大きく変動する可能性があります。

表2 開花予測日[発育速度(DVR)モデルによる発育予測:4月1日現在]

	開花日		今後の気温経過			
	昨 年	平 年	気象予報	平年並	2℃高い	2℃低い
あかつき	4月6日	4月13日	4月9日	4月11日	4月9日	4月15日
幸 水	4月14日	4月20日	4月16日	4月18日	4月15日	4月22日
ふ じ	4月15日	4月26日	4月23日	4月25日	4月21日	4月30日

- 3 防霜対策
- 開花期から幼果期にかけては、耐凍性が最も低下し凍霜害の危険性が高くなります。気象情報に十分注意し、防霜対策を徹底しましょう。生育ステージごとの安全限界温度(表3)を下回る温度に遭遇するおそれがある場合には、速やかに防霜対策を実施して下さい。なお、降霜による被害が見られた場合は、被害状況を確認の上、人工受粉を徹底し結実確保を図りましょう。
- 【栽培上の主な対策】
- (1)傾斜地の対策: 傾斜の下に防風ネット等がある場合は、冷気を溜めないようネットの下を巻き上げておきましょう。また、冷気の流れ込む場所にネット等の遮へい物を設置することも有効です。
- (2)下 草 の 管 理: 下草は常に低く刈り込むとともに、マルチは凍霜害の危険期を過ぎてから行うようにしてください。
- (3)乾 燥 防 止: 空気や土壌が乾燥していると気温の低下を助長するので、乾燥が続いている場合は適宜かん水を実施し、土壌水分を保持しましょう。

4 病虫害防除上の留意点

(1)ナシ黒星病

本病は前年の被害落葉や罹病芽(りん片)が伝染源になり(図1)、開花前から胞子を飛散するため、初期感染の防止に努めましょう。果樹研究所では4/3に子のう胞子の飛散が確認されています。防除暦に従い、花芽のりん片が緩み、落ち始めた頃を目安に薬剤を散布し、開花直前の散布と散布間隔があきすぎないように注意してください。

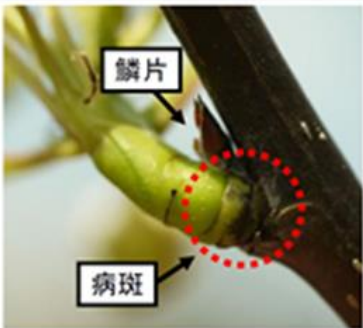


図1 ナシ黒星病の芽基部病斑

(2)リンゴ褐斑病
リンゴ褐斑病は、前年度の被害落葉が伝染源となり、子のう胞子を飛ばすことで1次感染します。1次感染期が5月から始まるため、多発生が続く園地では、4月中旬までに落ち葉を細かく裁断するなどして落葉処理を行いましょう。

(3)ももせん孔細菌病
本病は管内でも発生量が増加傾向にあります。モモせん孔細菌病は薬剤防除だけでは発生を抑えるのが難しいため、春型枝病斑を徹底してせん除する等の耕種的防除と薬剤防除を組み合わせ、総合的な防除対策を実施しましょう。

- ア 耕種的防除
- ・春型枝病斑は新梢葉や果実への伝染源となるため、疑わしい枝も含め徹底してせん除してください(図2)。
 - ・春型枝病斑の発生は長期間にわたるため、せん除は定期的に複数回実施してください。
 - ・春型枝病斑をせん除する場合、発病部位が残らないよう病斑部周辺を含め可能な限り基部まで切り戻してください(図3)。
 - ・樹冠上部の発病枝の取り残しは直下の被害拡大につながるため、樹冠上部の発生を見逃さないようにしましょう。
 - ・今後、発病葉や発病果実が見つかった場合、枝病斑とともに除去し、園外に持ち出すなど適切に処分してください。
- イ 薬剤防除
- 地域の防除暦に従って、落花期から7月まで10日間隔で薬剤散布を行ってください。その際は、薬剤の使用濃度、収穫前日数に十分注意してください。また、同一薬剤の連用は耐性菌の出現のリスクが高まるので、連用せずに薬剤のローテーションにより防除を行ってください。



図2 枝先に発生した春型枝病斑

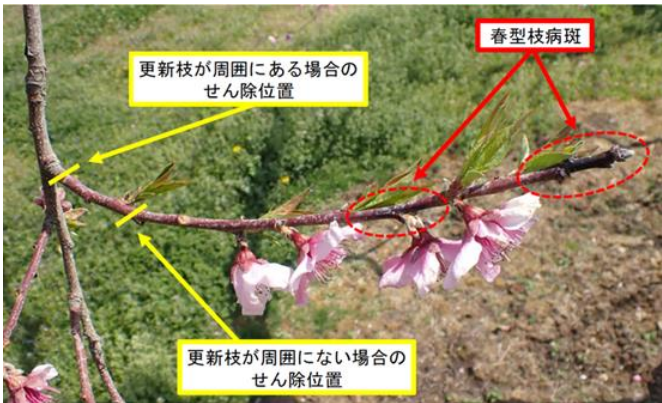


図3 春型枝病斑のせん除位置

(4)モモハモグリガ
病害虫防除所によると、モモハモグリガの越冬世代の発生がやや多くなることが予想されています。モモの落花10日後頃が重要防除時期となるため、防除を徹底しましょう。また、今後の発生予察情報に注意し、適期防除を心がけるようにしましょう。

表3 生育ステージと安全限界温度
もも「あかつき」

	発芽期	花蕾 赤色期	花弁露 出始期	花弁 露出期	開花 直前	開花 始期	満開期 ~ 開花 終期	落花期	幼果期
生育ステージ									
安全限界温度 (°C)	-	-2.6	-2.5	-2.5	-2.5	-2.5	-2.5	-2.1	-2.1

なし「幸水」

	発芽期	花蕾 露出期	花弁露 出始期	花弁 白色期	開花 直前	開花 始期	満開期	落花期	幼果期
生育ステージ									
安全限界温度 (°C)	-3.6	-2.9	-2.5	-1.8	-1.8	-	-1.3	-	-1.3

りんご「ふじ」

	発芽期	展葉 初期	花蕾 露出期	花蕾着色 ~ 開花 (赤色) 期	開花 直前	開花 始期	満開期	落花期	幼果期
生育ステージ									
安全限界温度 (°C)	-2.1	-2.1	-2.1	-2.0	-	-1.5	-1.5	-1.7	-

おうとう「佐藤錦」

	発芽期	花蕾 露出期	花弁 露出期	開花 ~ 開花 直前 始期	満開期	開花 終期	幼果期
生育ステージ							
安全限界温度 (°C)	-3.0	-1.6	-1.5	-1.7	-1.7	-1.7	-1.1

ぶどう「巨峰」

	発芽期	一葉期	二葉期	三葉期	四葉期
生育ステージ					
安全限界温度 (°C)	-4.6	-2.0	-2.0	-2.0	-1.8

かき「平核無」

	発芽期~展葉期	新梢伸長期
生育ステージ		
安全限界温度 (°C)	-4.0	-2.8